

幕張町4丁目町内会防犯パトロール隊（千葉県）

活動地域と団体の概要

千葉県の千葉市幕張から来ました、幕張町4丁目防犯パトロール隊の隊長の石川と申します。よろしくお願いします。

私たちの幕張町は、世界の幕張新都心、幕張メッセに隣接しています。千葉市の人口は96万人。政令指定都市となって6つの区ができ、そのひとつである花見川区に幕張町があります。花見川区は人口約19万人。総武線幕張駅、京成線幕張駅があり、新都心の幕張メッセのほうにはJR京葉線が走っています。

幕張町は伝統の町でもあり、毎年9月の15、16、17日の3日間は、地元の神社でのお祭りが盛大に行われます。下総三山の七年祭りと申しまして、千葉県の無形指定文化財です。船橋市、習志野市、八千代市、そして千葉市の4市合同で行われるお祭りで、約560年も続いているお祭りです。

私たちのパトロール隊は、空き巣などの犯罪が多く発生していることから平成16年3月、犯罪のない安心して暮らせる街づくりを目指して発足しています。隊員数が総勢で28名、現役世代も9名含んでいます。



パトロール隊結成の経緯

- ・「パトロール隊」結成の経緯
平成16年3月に「空き巣」などの犯罪が多く発生し、「犯罪のない安心して暮らせる街づくり」を目指して発足。
- ・パトロール隊の隊員
町会役員と組長で組織
隊員数28名 現役世代が9人含む

活動の概要

主な活動にパトロール活動があります。定時パトロールは毎月第1、第3土曜日の2回行っています。臨時パトロールですが、千葉市では「安全・安心メール」というものが配信されておりまして、毎日のように空き巣や車上ねらいなどの発生情報がメールで入ってきます。そういう際に臨時で青パトを出したりしています。青パトでは、「空き巣に注意」「ひったくりに注意」などといったことをスピーカーで呼びかけています。

発足してしばらくは、徒歩で総武線を中心に山側と海側の両方に分かれてパトロールをしていました。徒歩のパトロールもいいのですが、やはり、広報活動が大事だということ

主な活動内容

- ・パトロール活動
定期パトロール月2回（第1・3土曜日）
臨時パトロール
○警察などの要請に基づき実施
青色パトロール車、徒歩など
青色パトロール車は、幕張四丁目のほか
周辺町会のパトロールも行う
- ・広報啓発活動
青色パトロール車で「空き巣」、「ひったくり」防止
などの広報を行う

で、千葉西警察署の防犯協会からカロラの青パトを月に1、2回借りて活動していました。そのうち町内会でも、青パトを考えたいということ話をしたら、副会長がこちらの軽自動車を寄付してくださるというふうにおっしゃってくださいました。ただ、600世帯だと運営が厳しいので、現在はお借りするという形で使わせてもらっています。ガソリン代は、町内会で使う場合には町内会で払いますけれども、防犯パトロールで使うときには皆さんの自腹で行っております。ただし、任意保険だけは、町内会で負担させていただきます。

マグネットで屋根に青灯を付けて、両脇には「防犯パトロール」というマグネット板を貼っています。ひとつ秘密兵器がありまして、スピーカーアンプが床下に付いているのです。床下にあると洗車などが簡単ですし、青灯とマグネットをはがせば、普段は普通の車として使うことができます。

環境美化活動にも力を入れています。東関東自動車道で成田から東京を結ぶ途中に武石インターというインターチェンジがあります。その武石インターから幕張新都心へ通じる国際通りというメインストリートの沿道に千葉市から支給される花を植えています。植え方をひと工夫すると、とてもきれいです。

また、雑草の除去、草刈りも行っています。私たちの幕張の町というのは伝統のある町で、サツマイモで知られる青木昆陽のイモの試作地でもあります。京成幕張駅の近くに青木昆陽を祭っている碑があって雑草が生い茂っていました。草ぼうぼうの状態ですと、やはり犯罪につながります。ですから、防犯パトロール隊が草刈りも行っております。市に頼めばやっていただけるのですが、私たちは気が短いので、パッと皆さん集まって草刈りをしてしまいます。



青色パトロール車



環境美化活動

- 歩道に花を植える
武石インターから幕張メッセに向かう通過道
幕張のまちを気持ちよく運転してもらう
自動車からのポイ捨てを防ぐ
- 雑草の除去・草刈り
町内会の皆様の協力を得て、雑草の除去
環境整備により「犯罪の起こりにくいまちづくり」を目指す。

歩道への花の植え付け



武石インターから幕張メッセに向かう沿道に花を植える



草刈り活動





- ・子どもの見守り活動
幕張小学校の通学時に毎朝5人が見守り活動
- ・警察や市の催しに参加
キャンペーンなどに参加
- ・交通事故多発地区の検証
平成16年7月に幕張昆陽地下道(JR・京成線
を潜る道路)が開通し交通事故が多発
警察・市と共同で検証
道路の規制を見直し、改善され事故が減少



こちらは千葉西警察署と合同の防犯キャンペーンの様子です。スーパーなど人の集まる場所で、生活安全課の皆さんと私たち防犯パトロール隊が一緒に行動して、自転車の前かごにひったくり防止カバーを付けております。

交通安全関係では、事故多発地点を行政と一緒に地元の人みんなで検証し、道路の規制を見直して、事故の減少にもつながりました。

子供たちの見守りは防犯パトロール隊の隊員が毎朝5名ほど路上に出ています。約100名の子供たちが通学しますが、いきなり飛び出す子がいてヒヤリとすることもあります。私たちも余裕を持って車に喚起するように心がけています。

もちろん、私たちもただ活動しているばかりではありません。地域の人同士の交流とい

うことで、餅つき大会を開いたりと行事も盛んです。皆で和やかに意見交換をするというのも、長続きする秘訣かなと思います。

東日本大震災の経験

東日本大震災のとき、幕張新都心からの帰宅困難者が幕張駅に殺到しました。私たち防犯パトロール隊は、帰宅困難者を幕張小学校の体育館に誘導しました。午後3時半から夜の9時過ぎまで避難誘導して、何名かの隊員はそのまま避難所で一夜を過ごしました。ちょうど幕張メッセでイベントがありましたので、本当にものすごい数の帰宅困難者が発生しました。

写真左が避難所となった幕張小学校、右が幕張駅です。総武線、総武快速、京成電鉄、上下線合わせて6線、引込線もありますのでかなりの列車が行き来しています。小学校の体育館に収容しましたが、入りきれないほどだったので中学校の体育館も開放してもらいました。

私たちの防犯パトロール隊は、日ごろから災害救護活動にも対応できるように、赤十字の救急法を訓練しています。けが人が発生したときも速やかに担架運送できるような訓練も行っております。AEDの装着訓練も年に2回行っています。赤十字奉仕団の人たちと一緒に訓練しているところですが、うちの隊員の人たちも真剣に訓練しています。

先ほどの避難所の運営は、一晩だけだったので非常食はそれほど必要なかったのですが、これが長引いた場合も想定して、赤十字奉仕団の皆さんと地域の皆さんと一緒に、非常食の炊き出し訓練も、年に2回行っています。

今回の東日本大震災では、青色パトロール車で避難場所を広報し、誘導しました。日ごろからの私たちの防犯活動が、いざというときの災害救護活動にも役立ちました。日本は地震大国で、今地震が起きてもおかしくないわけです。ですから、私たちは防犯活動をしながらも、いつ何かが起きてもいいように、このような赤十字の講習を通じて、常日ごろから災害に備えています。

これからも安全で安心なまちづくりの実現に向けて、防犯活動にまい進していきたいと思っております。本日はありがとうございました。

避難所となった幕張小学校



幕張小学校の入口



幕張小学校から
JR幕張駅・京成幕張駅を臨む

防災活動の推進



～大震災に備えて～

- ・帰宅困難者に対するボランティア活動を経験して震災時の帰宅困難者の誘導・保護など災害時のボランティア活動がスムーズに行えた。
- ・帰宅困難者のボランティア活動時に学んだこと日ごろの防犯ボランティア活動が役立ち直ぐに活動できた
(青色回転灯で「安心」を与え、スピーカーで誘導)
- ・市や鉄道会社(JR・京成電鉄)などの関係機関からも感謝された

- ・帰宅困難者に対するボランティア活動を経験して震災時の帰宅困難者の誘導・保護など災害時のボランティア活動がスムーズに行えた。
- ・帰宅困難者のボランティア活動時に学んだこと日ごろの防犯ボランティア活動が役立ち直ぐに活動できた
(青色回転灯で「安心」を与え、スピーカーで誘導)
- ・市や鉄道会社(JR・京成電鉄)などの関係機関からも感謝された